



## 子育て支援センターだより

子育て支援センター ☎52 2315

今年の冬は、例年に比べて暖かい日が続いていますが、それでもやっぱり冬は寒いですね。

2月6日、7日、にこにこ学級で雪遊びを行いました。場所は保健福祉センターみなくる横のやわらぎ公園で遊びました。この日は、天候も悪く雨まじりの雪が降り、雪もべたべたでしたが、子ども達は関係なく喜んで楽しく雪遊びを始めました。雪も少なく公園内を散策することもできて、子どもが遊ぶのにはちょうど良い高さの雪山もあり、ソリ滑りや雪だるまも作ったりしてとても楽しく遊んでいました。最後には、雪の中に隠したカプセルを探し見つける宝探しゲームをして、1人見つけると他のみんなも必死になって探していました。雪の中を歩くというのは、相当体力を消耗するので、特にこの日みたいな雪の中を歩くのは体力も使い、終わり近くになると子ども達やお母さん方もへとへとになっていました。

冬になり、雪が降るとどうしても家にこもりがちになってしまいます。「寒いから風邪をひくから雪遊びはやめよう。」と言うご家庭が多いのではないのでしょうか。子どもは、季節に関係なく1年中休みなく日々、心身ともに成長しています。寒いからといって外にも出ないのは大間違い。体力が落ちてしまい、身体の抵抗力も弱まり、反対に風邪の引きやすい身体になってしまいます。夏は暑い、冬は寒いといった気温の差や冷たい雪の感触などは子どもにとってはとても新鮮なものです。体験しないと味わえないので、天候が良く子どもの体調が良ければどんどん外に出て、なが～い冬ですが雪遊びを楽しみながら健康でたくましい身体作りをして、暖かい季節に向けて体力をつけてほしいと思います。また、この時期は風邪などの病気が流行して来ますので、しっかり手洗い・うがいをして予防してください。

## 保育所の元気な子ども達

2月2日、幾寅・金山両保育所で、豆まき会を行いました。子ども達は自分で作った鬼の面をつけてマスを持ち、豆まきの歌を歌ったりどうして豆まきが始まったのか、豆まきの意味などについて話を聞いた後、幾寅保育所では鬼にボールをぶっつけて落とす鬼退治ゲームを楽しみ、金山保育所では鬼の輪投げゲームと鬼落としゲームを楽しみました。最後に年長組がかみしもを着て豆をまきました。小さい子は豆を拾う役です。拾った豆は「おいしいね」と言いながら笑顔で食べていました。

幾寅保育所



金山保育所

